

キャリアシンポジウム「ふるさと釧路で働くということ」

日時：令和3年6月28日（月）10：00～11：00

会場：釧路教育研究センター2階大会議室及び各中学校の教室等

※オンライン Google Meet を利用して開催

テーマ：「学ぶこと、働くこと、そして生きること」

パネラー：一般社団法人釧路青年会議所 理事長 菅原 宏

釧路市教育委員会 教育長 岡部 義孝

コーディネーター：釧路市教育委員会地域学校協働本部

統括的な地域学校協働活動推進員 森 敏隆

(北海道立青少年体験活動支援施設 ネイパル厚岸 所長)

1. 開 会

2. シンポジウム

森推進員) はじめに岡部教育長に聞きます。教育長というお仕事は責任のある、大変な仕事であることは想像できますが、実際には、どのようなお仕事なのかということを含めまして、まずは自己紹介をお願いします。

岡部教育長) 今日はキャリア教育のシンポジウムということですので、まずはこれを今後もしっかりと進めていこうという目的であります。その前に、この教育長という立場・職については、どういったものであるかというところを皆さんに改めてお話をさせていただきます。

大まかには教育というものに2つの柱があると思ってください。一つは、皆さんが通われている中学校を含めた学校教育、そしてもう一つが生涯学習・社会教育という、教育長という立場はこの双方の責任者、市としての代表を担う立場であります。少しわかりやすくお話させていただきますが、皆さんが日々通われている学校や生涯学習センターまなぼと、文化会館、湿原の風アリーナ、こういった施設の維持管理、そこで行われている様々な文化芸術活動、スポーツ活動全般についても、全ての最終的な責任が私にある、といったように思っています。

私は教育長に就任して、概ね3年と8か月が経ちました。この間、特に学校教育の分野で申し上げれば、私が今、教育長として何のために仕事をしているのか、たった一言で言うことができます。そしてそのことは、3年8か月何も変わっていません。私は、皆さんをはじめ釧路の子供たちが一人残らず幸せになること、このことを唯一の目的として日々、仕事をしておりますし、今日のシンポジウムもそういった私の思いを皆さんに少しでもお伝えできればと、こんな考えでおりますので、ぜひどうぞよろしく願いいたします。

森推進員) ありがとうございます。今、お話いただきましたとおり、皆さん一人一人の最終責任者ということで、お話をさせていただいております。大変貴重な機会ですので、しっかりメモを取ってしっかり聞いていただければと思います。

それでは続きまして、菅原理事長にお話を聞きたいと思います。釧路青年会議所の理事長としてご活躍されております。釧路青年会議所は一体、どのような活動をされているのかなどを含めまして、自己紹介をお願いいたします。

菅原理事長) 皆さんおはようございます。私は、今ご紹介いただきました、一般社団法人釧路青年会議所の2021年度理事長をさせていただいております、菅原宏と言います。どうぞよろしくお願いいたします。

今、聞いていらっしゃる中学校1年生の皆さんは、なかなかこの釧路青年会議所に馴染みがないかと思います。20歳から40歳のメンバーで構成される団体ですが、我々、メンバーは皆さんと一緒に釧路で暮らしており、釧路で仕事をさせていただいている立場であります。この中で、この釧路地域における様々な問題点・課題点をみんなと一緒に考えながら、どうやったらこの問題・課題を解決できるのか、そして、この課題が解決した先には、どういった明るい未来があるのか、そういったことを常に考えながら、この釧路地域のために日々活動をさせていただいております。一つ代表的な例を挙げさせていただきますと、釧路の夏に行われる「くしろ霧フェスティバル」といったイベントがあります。そこの実行委員会の中に、この釧路青年会議所のメンバーが入りまして、お祭りの準備や開催をさせていただいているといったところが、代表的な事業の一つであります。

最近のコロナ禍の中で、この釧路地域にも暗いニュースが多く流れている日々であります、少しでもこの釧路地域の皆様に笑顔になっていただきたい、そういった思いを持ちまして、今年も7月23日から25日まで「くしろ霧フェスティバル」を開催させていただきます。おそらく皆さんも夏休みに入っている頃かと思います。しっかり勉強した後は、日頃のストレスを発散するために、ぜひ「くしろ霧フェスティバル」に遊びに来てくれたら嬉しいです。

今日は、岡部教育長と皆さんのために、一つでも多くのことを学んでいただけるように、頑張ってお話をしていきたいと思っています。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

森推進員) ありがとうございます。本日は中学校で皆さんがキャリア教育をスタートさせるということで、シンポジウムを開催しております。はじめにキャリア教育とは、どのような学習なのかについて、岡部教育長にお話を聞きたいと思っています。

岡部教育長) 今日はキャリア教育ということですが、あまり堅苦しく考えることではないと思います。皆さんが時折参加をいただいております、インターンシップなどもこのキャリア教育の一環ということで、まずはご承知おきをください。

さて、このキャリア教育とは何ぞや、ということについてですが、国ではこのような説明があります。「子供たち一人一人が、社会的・職業的に自立するために、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育」、このような書かれ方がしておりますが、少しわかりやすく説明させていただきます。近年、労働者、特に若い世代の労働者に関してこんな問題が深刻化しています。大いに危機感を持たれている部分なんです、一つ、学校を出て入った企業を早々と退職する方が増えています。大卒の3割、高卒の4割、中卒で言うと5割は3年以内に早期退職をしているというデータがございます。それから、もう一つは、定職に就かないで所謂、フリーターとして職場を転々とする若者が増えています。もう一つ、正社員になれずに非正規雇用を続けざるを得ない、若い労働者について、このようなことも大きな問題となっているところです。これらを未然に防いでいこうというのが、このキャリア教育の一つの目的であります。そこには二つの側面がありますが、一つは学校教育の中で、やがて社会に出て行った際に自立するために必要な、職業人としての能力を身に付けること。その能力の中には、当然に学力というものも大きなウエイトを占めているというふうに思ってください。

それからもう一つ、自分の進路は自分で決めるという主体性を育むこと。働くことの意義だとか、職業観を学んでいただくことで、意欲的に仕事に取り組む、こういった姿勢を身に付けてもらって、自分の進路を主体的に決めていただく。こういったことを学んでもらうのが、このキャリア教育の目的であります。この重要性が叫ばれるようになったのは、それほど歴史が長いわけではありません。この日本においては、1999年頃からこのキャリア教育が語られ始めていて、その時に何があったかという、20世紀後半から段々と地球規模で情報技術革新というのが進んできました。コンピューターです。そういったことで、この情報技術革新が社会や経済や産業の構造を一気に変え始めたのが、この21世紀に入ってからになります。その流れはどんどんと進んでいます。したがって、この国際化、グローバル化の社会も含めて、この20年、キャリア教育というのは、毎年毎年その必要性を増している、こんなふうに皆さんにはご承知おきをいただければと思います。

森推進員) ありがとうございます。それではどのような能力を付けていかなければいけないのかですとか、最後にお話をいただいたように、今後どのような時代になるのか、といったところは後程、時間のある限り、お話を続けていただければと思います。今、キャリア教育についてお話をいただきましたが、なかなか学校だけではやり切れない部分があります。それで、実際に第一線で働いておられます、釧路青年会議所の皆さんのお力添えを借りながら進められればというふうに思っておりますが、釧路青年会議所でも実際に、教育に関する活動を行っております。特に今年は菅原理事長の方針で小中学校の取組みを大切にしたいということも聞いております。菅原理事長の思いも含めてキャリア教育について、お話をいただければと思います。よろしく願いいたします。

菅原理事長) 今、岡部教育長からキャリア教育の概要については、ご説明があったかと思っております。そういった中で、今、森推進員の方からありまして、我々青年会議所として、こういった形で皆さんのお役に立てるのか、そういった思いがありまして、2018年より釧路市教育委員会と連携を組ませていただいて、そこから少しずつではありますけれども、皆さんの中学校に我々がお邪魔をして、お時間を借りて、その中で仕事について何回かこれまでお話をさせていただきました。

釧路青年会議所は、1月1日からスタートして12月31日で1年が終わる形になっております。その中で役割も1年ごとに違いますし、当然、行う活動内容も変わってきます。その中で本年度2021年度は、私が理事長をさせていただいている中で、今後、この地域、日本をつくっていく小学生・中学生を対象にしっかりと成長できる機会をつくっていきたいという思いがございまして、今年は小学生・中学生を対象とした事業を行わせていただいております。

少し前までは釧路青年会議所も小学生が体験できる事業であったり、中学生が体験できる事業であったりさせていただいていましたが、その後は間もなく社会に出るであろう、高校生・大学生を対象にした事業に力を入れてきたということも事実であります。私個人的にもコロナ禍の中で、本当に小学生・中学生の皆さんが大変な思いをされていることは、私も中学生の息子と小学生の息子を持っている親としても、しっかりとこれから活躍できるように力を入れていくべきではないかという思いもあって、今年はこういった事業に力を入れていただいているところでございます。

今、教育長のお話からあった様々な能力と言いますか、養っていただきたい力、といったものはたくさんありますが、私の中で一番重要にしていきたいポイントというのは、やはり、

協調性だったり、みんなと関りを持つコミュニケーションであったり、こういったところをぜひ、今のうちから皆さんには大いに学んでいただきたいと強く思っているところであります。

キャリア教育と聞いて皆さんは、まだピンと来ていない部分もあるかと思えますが、今後、皆さんが高校、大学、社会に出ていく上で、必ず必要になってくる力となります。学校だけでは味合えない体験等も、我々もしっかり準備していきたいと思っておりますので、あまり難しく考えずに、積極的にこのキャリア教育に関わっていただければ幸いです。

森推進員) ありがとうございます。今、お話があったように、2019年から色々な取組をさせていただいて協力いただいております。特に、学校に青年会議所の皆さんが行っていただいて、お話を聞かせていただいた講話については、学校からも評判が良くて、ぜひまたやっていただきたいということです。今年はこの後、オンラインによります職場体験を中学校2年生を対象に考えております。そして、今日のシンポジウムも今後、継続して青年会議所の皆さんと市教委で連携してやっていけるといことでお願いいたします。先ほど、キャリア教育について教育長からお話がありましたが、今後、将来がどのようになっていくかという予測のところは、中学生にとっても大事なところだと思います。今の中学校1年生が働く、10年から15年以降について、大体世の中がどのようになっているかということで、教育長にどのようなお考えがあるか聞きたいと思えます。

岡部教育長) 先ほど、お話をした中で、後半少しお話をしました。例えば10年後の社会がどのようになっているか。実は我々も誰一人わからない、こう言わざるを得ないと思えます。2年位前に、国の方の講演会を聴いたときの丁度1枚パワーポイントのスライドの写真を撮ったものがありまして、それを今、少しお話をさせていただきますが、将来予測の数々です。一つ、「今の子供たちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く」つまり子供たちの3分の2は、今はどこにも職業がないものに大学卒業後、就かざるを得ないということです。35%の人しか、例えば学校の先生はどうなるのか、タクシーの運転手さんはどうなるのか、それが今ある職業ですが、65%は今ない職業に就くということが、キャシー・デビッドソンさんというアメリカの学校の先生のお話です。それからもう一つ、「今後20年程度で、約47%の仕事が自動化される」というお話です。これは、マイケル・オズボーンさんというオックスフォード大学の先生のお話ですが、今ある仕事の約半分は自動化される世の中が来ます。ジョン・メイナード・ケインズさんという経済学者はこのように言っています。「2030年までには週15時間程度働けば済むようになる」、つまりほとんど働かなくていい。それはAIであり、ロボットであり、こういったものが人間の代わりとなる社会が、そこまで来ているということを彼は言っていると思えます。このパワーポイントのスライドはこのように結んでいます。「現在の職業の多くは今後無くなっていく可能性が高い」というお話であります。また、このようなお話もあります。リンダ・グラットンさんというイギリスの経済学者の言葉で、「2007年生まれの子供の5割は100歳以上生きる」という、今、大体1,000人位の皆さんがシンポジウムを聴いていただいておりますが、これでいくと500人は100歳まで生きるという話になります。これらを総合すると、こういう話になります。我が国はこれからも人口が減っていきます。それは様々な指標が示していますので、避けられないでしょう、と。そして高齢化社会がさらに加速していくであろう、と。そして私がお話したとおり、仕事は自動化されていきます。皆さんの周りにいる大人たちも、私も含めて、冒頭申し上げた通り、10年後の社会すらはっきりと見通せない、そのような予測が難しい社会が来ます。そのときに、皆さんにぜひ

ひお願いしたいのは、一人一人でそれぞれ判断していただく力、もっと言うと、それを私は「生きる力」と呼んでいますが、これを身に付けていただいて、そういった変化にも十分対応していけるような、自立して次の時代を歩いていけるような、皆さんにはそういった力を身に付けていただきたいと思っておりますし、今日のこのシンポジウム、或いは、キャリア教育というのは、そのような意味を持っているんだと私はそのように思っております。

森推進員) ありがとうございます。自立して歩いていけるということで、大変貴重なお話を聞かせていただきました。菅原理事長は、釧路の未来はどのようにお考えでしょうか。

菅原理事長) 私も釧路の将来がどのようになっていくのか、正直見えない部分があると思いますが、間違いなく岡部教育長がおっしゃったように、10年後はガラッと時代が変わっているんだろうと思います。様々な技術発展もそうですが、このITの加速化もあり、本当に生活がし易くなっている部分と、逆に生活がしにくくなっている部分があるのかなと思っています。やはり、この地域がどうなろうと、我々、この釧路に住む大人たちはしっかりと子供たちのために地域を残していきたい、そういった思いがあって、今この釧路で働いている大人たちは、常にその考えを持っているんだろうと強く思っております。ぜひ、この釧路地域で働くといったところを強く思っていたきたいと思っておりますが、なかなかこの釧路には働きたいが仕事がない、働く先が見つけられない、そういった声があるのも事実であります。しかしながら、この世の中にある職業が、果たしてこの釧路地域にないものがあるのだろうかと考えたとき、私はほとんどの職業は、この釧路地域の中にあるんだろうと信じておりますし、確信もしております。今、皆さんが思っている将来、夢であったり、そういったものに就くために、この釧路地域にはないというのであればわかりますが、ぜひ、夢を今の中学生にはしっかり持っていて、それを達成するために今からこの「生きる力」というのは、どの時代においても必ず必要になってきますし、今後益々、重要になってくる力になると思っております。これから皆さんが中学校を卒業して、高校に行って、その後、仕事に就いていくことになります。まずは大きな夢を持つことが大事ですが、その手前にある小さな目標を常に描きながら、一步一步クリアしていくことによって、達成感も出てきますし、その積み重ねこそが必ず皆さんが生きていく上で、自分の力となって還ってきますので、そういった部分を信じて頑張っていたきたいと思っております。

森推進員) ありがとうございます。話が盛り上がってきて、大変良い方向になってきていますが、時間がありません。それで、この後、いくつか準備して話を用意していたのですが、大変パネルの皆さんには申し訳ありませんが、この後はまとめてお話をしていただきたいと思っております。今日は、「ふるさと釧路で働くということ」がテーマでございます。それでお二人に、働くということには、どのような意義があるのかということが1点、それから、今日、ずっとテーマになってきます近未来について、キャリア教育としてやっていかななくてはならない、どのような力を付けていかなければならないのか、ということ、この2点を含めまして、最後に中学校1年生に対してメッセージを送っていただきたいと思っております。理事長からお願いいたします。

菅原理事長) 働くことの意義についてですが、私は今、自分で保険代理業というお仕事をさせていただいておりますが、これはずっとぶれることなく誰かの役に立ちたい、そのために私は今、仕事をさせていただいております。私はこの保険を使って、あらゆる方が有事の際に経済的負担を最小限に抑える手助けをする、これが私の仕事をする意義でございます。それによってこの釧

路地域を守っていく、そういった強い思いを持ちながらお仕事をさせていただいております。仕事というのは、どんな仕事に就いても必ず誰かのためになっているということは、皆さんには忘れないでほしいと思います。モノづくりであっても、直接誰かのためという関りはないかもしれませんが、必ず誰かのためになっている、といったところは間違いなく確信と言えると思っております。ぜひ、そういった部分をしっかり考えながら、皆さんまだまだ、教育長も言っていますけども、100歳まで生きられますので、長い人生を有意義に過ごしていただけるように、今から頑張っていたきたいな、といったふうに思っております。そして、この中学校を卒業して、高校に上がって、社会に出ますと、なかなか自分のために時間をつかうということが、本当に難しくなってくるかと思えます。仕事に追われながら生活していく日々であったり、といったことも十分考えられます。ですから、今、この中学生の時代だからこそ、友達を大切にして、今だからできること、部活であってもそうですけど、勉強ももちろんそうです。全力で楽しみながら、日々過ごしていただければ、よろしいのかなと思っております。

森推進員) 大変ありがとうございます。教育長お願いいたします。

岡部教育長) 私も菅原理事長と同様のお話をさせていただこうと思います。一言で言えば、働くということは、社会に対して自分の可能性をどのように活かせるのか、といったことを探る作業なのかかもしれないな、と思っています。そういった中で、今日、このシンポジウムを聞いておられる中学生の皆さん、これまでの世代の中学生ともこれからの世代の中学生とも、私は大きく違うんだなと思っております。それはなぜかというところ、この新型コロナウイルスの中で、今皆さんは中学校生活を送っているというところでありまして、昨年も全市で一斉に臨時休業になったり、皆さんの授業にもタブレットが導入されたり、部活動も制限を受けたり、皆さんは非常に困難な、或いは予想もしていなかった、今まさにそのような中で中学校生活を送られているという意味では、私は先程申し上げた、変化に対応していく力、要するに生きる力を今、皆さんは否応なしに持たざるを得ない、そんな中学校生活を送っているんだというふうに思っております。何回も申し上げますが、大人ですら皆さんに的確な答えを出せるかどうかというのはわかりません。そんな社会が来る中では、今皆さんがこうして主体的に自分で物事を考えていく、そういった時代に中学生として生きているということは、このコロナが収束して皆さんが社会に出て活躍していくときに、この時代が教えてくれた様々なことというのは、きっと教訓となって生きてくるといふふうに思いますので、皆さんならできると思えます。大いに期待しておりますので、頑張ってください。よろしくお願いいたします。

森推進員) 大変貴重なお話を聞かせていただくことができました。メモをしっかり取っている人は、キーワードを掴めたのではないかというふうに思います。それでは折角ですので、各学校の方からもし質問等があれば、どなたか勇気を出して質問を出していただきたいと思えます。いかがでしょうか。桜が丘中学校お願いします。

桜が丘中生徒) これから社会で仕事が47%自動化になったり、大学卒業の人は60%今存在しない仕事に就いているというお話のことでしたが、今ある仕事でなくなる職業とは、主に何でしょうか。教えていただければと思います。

森推進員) 今ある職業でなくなる職業はどんな職業か、ということですが、なかなか予測はつきま

せんが、これはなくなるであろうということで、教育長お願い致します。

岡部教育長) ご質問ありがとうございます。今後ですが、AIって聞いたことありますか？日本語で人工知能と訳されますが、或いは、ロボティクスといってロボットが人間の代わりに仕事をしていくという社会が予測されています。そういった意味で、私は先程、子供たちの65%は今存在しない職業に就くと言いました。直近なんですけども、ある民間の生命保険会社のアンケートで、中学生、特に男子の将来就きたい職業というアンケートがありますのでご紹介させていただきます。1番目YouTuber、2番目プロのeスポーツプレイヤー、3番目ゲームクリエイター、4番目ITエンジニア・プログラマー、5番目会社の社長。会社の社長以外は15年前には一つもなかった職業ばかりです。ですが、今、中学生の男子はそれを将来就きたい職業として、アンケートの上位になっていますので大丈夫です。変化に対応していくことが大事なので、皆さんだったら恐れることなく、そういった変化に対応していけると思いますので、そういったことで日々、学校での勉強やスポーツに励んでいただければと思います。

森推進員) 桜が丘中学校、ありがとうございました。続いて北中学校お願いいたします。

北中生徒) 「ふるさと釧路で」というテーマでのお話でしたが、釧路で働くためには釧路の魅力に気付き、釧路に住もうという意欲が湧くことも大切かと思えます。そこで質問です。岡部教育長さんにとって、釧路の魅力とは何だと思えますか。

岡部教育長) 釧路には魅力がたくさんあります。皆さんにぜひお願いしたいのは、私が釧路の魅力をどう思うかというよりは、皆さんたちが日々、自分たちのまち釧路にどういう魅力があるかということや友達同士の会話でもいいですし、それを考えていただければと思います。そして、私が釧路青年会議所、菅原理事長のJCさんと連携協定を結んだのは、ぜひこの釧路の魅力に皆さんが一人一人気付いて、このまちを、将来皆さんが活躍するフィールドとして選んでいただきたい、そのためにJCの皆さんは、講師として皆さんの学校へ色々な釧路の魅力を伝えていただければいいので、美味しい食べ物ですとか、自然が多いですとか、そういう話は簡単に言えますが、皆さんにはぜひ、それ以外の自分ならではの釧路の魅力というものを日常、友達との会話等々を通して、気付いていただければと、そんなお願いをして回答に代えさせていただきます。

森推進員) 釧路の魅力ですので、菅原理事長にもお聞きしたいと思います。

菅原理事長) 今、教育長がおっしゃったとおり、やはりこの釧路地域というのは素晴らしい自然、食もそうですけども、魅力がたくさんあると思っております。ただ、魅力というのは皆さんそれぞれが感じるものでありますので、個性と言いますか、こういったところにつながっていくものかと思えます。ぜひ、自分で魅力を探していただいて、みんなで釧路の良さというものを共有できる時間等もつくっていただきたいと思えます。魅力というのは、本当に簡単に言えるものはないのですけども、ぜひ新しい魅力を逆に中学生の皆さんからも教えていただければと思います。

森推進員) 質問大変ありがとうございました。次に、阿寒中学校お願いします。

阿寒中生徒) 仕事に働ける、働けないの前の話になりますが、社会で生きていく中で必要な力は何

でしょうか。

森推進員) 社会で生きていくために必要な力、今日のお話でもありましたが、もう一回聞いてみたいと思います。理事長どうでしょうか。

菅原理事長) 社会で必要な力というのは、本当にたくさんありますが、社会が皆さんのような若い人たちに求めている力というのは、行動力であったり、責任感、そして協調性であったり、コミュニケーション能力、こういったものを今の社会は必要としております。そういった力が、実際どういうものなのか、なかなかぼんやりしていると思いますが、色々な情報を集められる時代にもなっていますので、ぜひ時間があるときにでも、G o o g l eなどを利用して、一つずつそういった力というのがどういったものなのかを感じ取ってもらって、そういった力を身に付けるんだと強い思いを持っていただいて、この社会に必要とされている力を少しずつでもいいので、身に付けていただければいいなと思います。頑張ってください。

森推進員) 教育長にもお願いいたします。

岡部教育長) 社会の変化というのは、今後も留まることはありません。社会は変化し続けます。ただ、その変化の度合いというのは、これからの社会はこれまでの社会よりもはるかに大きいと思いますので、ぜひ皆さんには、まず常に持ってほしいのは夢や希望。これをまずはしっかりと、それぞれに持っていただきながら、ぜひ自分の力でそういった社会を、未来を切り拓いていただく、そのためには変化を恐れることはないですし、変化に対応していく力や態度を身に付けていただきたい、というのが願いであります。

森推進員) ありがとうございます。続いて、景雲中学校お願いいたします。

景雲中生徒) 若者の早期退職が多いという話ですが、仕事を継続するためには、何が必要だと思いますか。

森推進員) 仕事を継続していくためには、何が必要かという質問ですが、これは理事長にお願いしてよろしいですか。

菅原理事長) ご質問、ありがとうございます。教育長からも今の若い方の早期退職が増えているということですが、今、その会社の中にある風紀と言いますか、その中で新入社員の方にどういったものを求めているのか、それと新入社員がどういう気持ちで仕事をしているのか、その気持ちの違いが大きいのかなと思っております。逆に、昔から働いている上司となる人たちは、どうしても自分たちがやってほしいことを新入社員の方々に押し付けてしまう、といったところが大きいのかなと思います。よく一言で、今の若者は使い物にならないとか、結構言われたりしていますが、私はそういったことは一切ないと思っております。いかに今ある会社と若い方との気持ちのギャップを上手く埋めていくか、それが今後必要となってくるところだと思いますし、逆に早期退職がし易い時代になっているというのも勿論ありますし、そういったことはあまり考えずに、自分のやりたいことをまずは見つけて、精一杯頑張る、そこを目標にして頑張りたいと思います。

森推進員) ありがとうございました。最後に幣舞中学校お願いします。

幣舞中生徒) 先程、判断力などの生きる力を身に付けることが大切と言っていましたが、具体的に身に付けるにはどうしたらいいでしょうか。

森推進員) 教育長お願いします。

岡部教育長) 皆さんに生きる力を身に付けていただくために、私ども教育委員会も釧路青年会議所さんのお手伝いをいただきながら、このキャリア教育というのを進めています。例えば、キャリア教育とは、小学校から始まっていき、高校へと進んでいく中でも色々な形で行っております。例えば、社会見学もそうだし、ボランティア活動に参加をするというのもキャリア教育の一環です。それから先程お話したインターンシップ、ぜひ皆さんにはこういったことを通して、変化をしていく社会にあって、職業人としてどういうふうに対応していくかということを通して学んでいただければというふうに思います。

森推進員) それでは、しっかり生きる力を身に付けてもらうために、この後も頑張ってくださいと思います。まだ、たくさん質問に手を挙げていただいているのですが、時間になりました。この後のアンケートの中に、質問を書くところもありますので、その中に書いていただければ、しっかりとこの後お答えしたいと思います。それでは、貴重なお話を終わらせていただきます。この後、しっかりとふりかえっていただきたいと思います。

3. 閉会